

## 平成 27 年度第 4 回協議会以降に実施した事業について

## 1 障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ

## 「ココロン・カフェ」

## (1) 実施日時及び参加者数等

## ① 第 11 回ココロン・カフェ

日 時：平成 27 年 8 月 7 日（金）10：00～12：00

場 所：宮城野区役所 6 階ホール

参加者：24 名（4 グループで意見交換実施）

うち協議会委員（白江委員、杉山委員、千葉委員）

## ② 第 12 回ココロン・カフェ

日 時：平成 27 年 8 月 9 日（日）14：00～16：00

場 所：仙台市役所本庁舎 8 階ホール

参加者：39 名（6 グループで意見交換実施）

うち協議会委員（阿部会長、柴田委員、杉山委員、千葉委員）

## (2) 実施内容

## ① はじめに

## ② 仙台市説明

- ・ 障害を理由とする差別の解消を推進するための取り組みについて
- ・ 障害者施策推進協議会で検討された内容について

## ③ ワークショップ

- ・ グループワークによる意見交換

「3つの名前について印象を話し合おう」

名前(例)	{	① 障害者差別禁止条例 ② 共に暮らしやすい社会づくり条例 ③ 差別をなくし共生社会を実現する条例
-------	---	---

「条例の名前を考えよう」

- ・ 意見発表

## (3) いただいたご意見等

## ○ 「① 障害者差別禁止条例」についての印象

- ・ はっきりしていてわかりやすい。
- ・ イメージが固い。
- ・ 子どもや読み書きが難しいろうあ者にはわかりづらいのではないかな。
- ・ 障害者が特別な目で見られてしまうのではないかな。

### ○「②共に暮らしやすい社会づくり条例」についての印象

- ・ 目指すべき社会像を入れるのはいいと思う。
- ・ ぼんやりしていて何を目標しているのかわかりにくい。
- ・ 社会という単位ではなく地域という単位にしてはどうか。

### ○「③差別をなくし共生社会を実現する条例」についての印象

- ・ やわらかい表現でいいと思う。
- ・ 障害者だけでなく高齢者にもつながるところがあっていい。
- ・ 長すぎるのでもっとわかりやすくした方がいい。

### ○どんな条例の名前がいいか

- ・ 差別を禁止して誰もが住みやすい杜の都
- ・ 障害のある人もない人も共にわかりあい皆にやさしい杜の都条例
- ・ 障害者差別禁止条例
- ・ ココロ条例
- ・ やすらぎ絆を作る仙台市条例
- ・ 差別のない皆で笑えるまちづくり条例
- ・ みんな平等で暮らしやすい社会
- ・ 障害を知ってもらおう条例
- ・ 杜のまち ひとやさ条例
- ・ ユニバーサル条例
- ・ 違う年齢（とし）でも同じ都市で暮らしやすいまちづくり条例
- ・ 共に暮らしやすい社会づくり条例
- ・ 障害者差別防止条例
- ・ 共に暮らしやすい地域づくり条例

### ○名前に盛り込む言葉、キーワードについての意見

- ・ 差別はいけないということを伝えるには「禁止」の方がいい。
- ・ 「禁止」という言葉は強すぎる。
- ・ 「障害」や「差別」という言葉が入ると、障害のある人が特別に守られている存在だと思われてしまうのではないか。
- ・ 「障害者」というと手帳を持っている人とか身体・知的・精神の人だけというイメージになってしまう。
- ・ あえて「差別」という言葉を入れて仙台から変えていきたい。
- ・ 誰でも生きづらさを持っているので「誰もが」という言葉がいい。
- ・ 障害のある人の権利だけを守る特別な条例ではなく、皆のための条例という

ことで「障害のある人もない人も」や「共に」「皆で」といった言葉が重要ではないか。

- ・ 「人にやさしいまちづくり」=「ひとやさ」というキーワードが出た。
- ・ 「解消」という言葉には発展的な意味があるように感じる。
- ・ 市民と障害のある人が当たり前のように平等にわかり合えることが大事なので、「平等」や「当たり前」という言葉が入るといい。
- ・ コロン・カフェに参加している一人一人が条例を発展させていくという自覚を持ってもらえるよう「コロン」を入れるといいのでは。
- ・ いろんな差別は社会の理解の問題が大きいので「社会的障壁をなくす」「共生社会の実現」という言葉を入れるといいのではないか。
- ・ 「やすらぎ」や「絆」という言葉を入れるといいのではないか。
- ・ 「ひとまち」というキーワードは他の国の言語に訳しやすく、知的障害の方、子どもたち、点訳・手話通訳の人などにもわかりやすいのではないか。

### ○名前の考え方についての意見

- ・ 条例の目的や趣旨がはっきりわかる名前がいい。
- ・ 年齢や国籍に関わらず誰にでもわかりやすい名前にしないとけない。
- ・ いろいろ名前につめこんで長い名前になってしまっても、熱い思いが伝わる名前になればいいのではないか。
- ・ 健常者が見て心に響く名前がいい。
- ・ 子どもにも親しみやすいよう愛称があるといいのでは。
- ・ 仙台らしさも盛り込めるといい。
- ・ 条例についてこれまで議論してきたプロセスや思いを名前に盛り込んで、名前の意図を発信することが大事。
- ・ 社会という大きなくくりではなく、地域作りという視点が大切ではないか。
- ・ 障害のない人にも身近な問題だと感じてもらえるような名前がいい。
- ・ 障害についての理解が深まるような名前がいい。
- ・ 「差別禁止」と圧力をかけるよりも「障害を知ってもらおう」土壌をつくるのが大切。

### ○その他

- ・ 周知については、マスコミを通して、タレントやパラリンピック等のスポーツ選手などに協力してもらってやってはどうか。
- ・ 条例に名前がついた後も、このように市民が集まって障害者差別について議論する機会が継続すればいい。

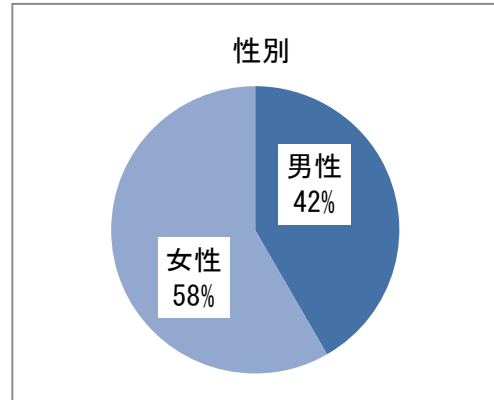
(4) 実施状況について (アンケート結果より)

【第11回ココロン・カフェ】

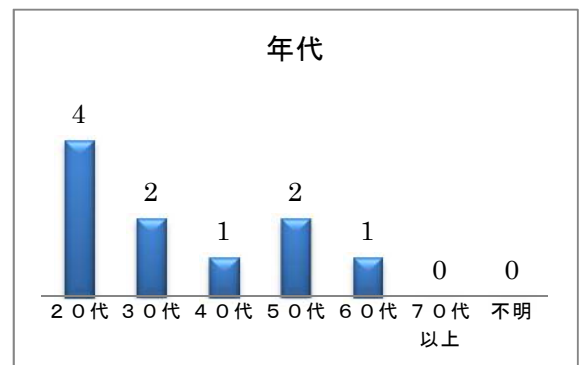
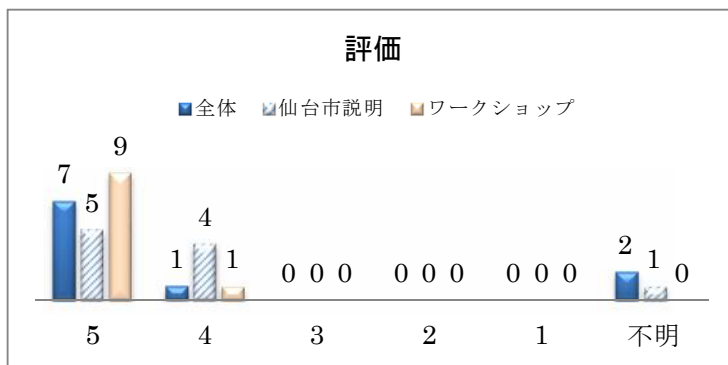
○ 参加者数

男性	女性	合計
10人	14人	24人

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者
- など



○ アンケート結果 (回収10人:男性3人/女性7人)



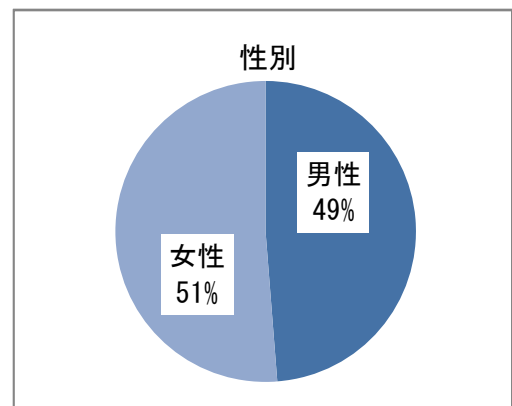
5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない

【第12回ココロン・カフェ】

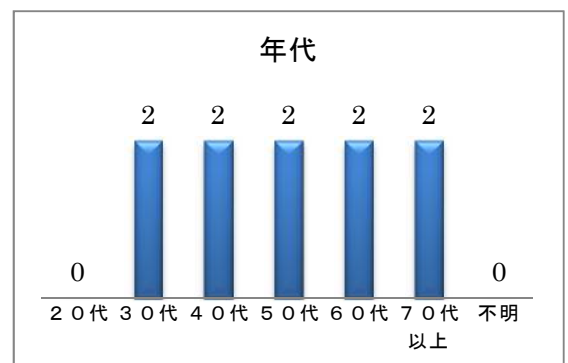
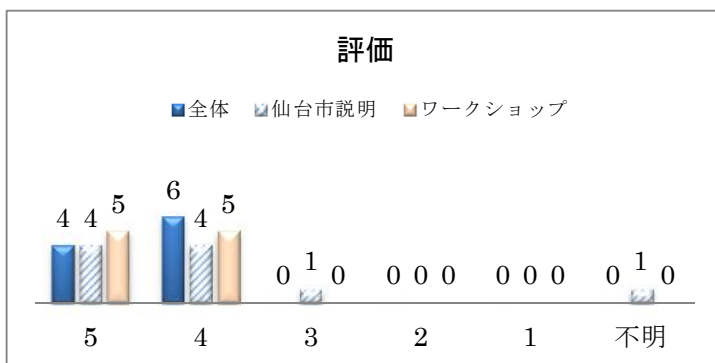
○ 参加者数

男性	女性	合計
19人	20人	39人

- ・ 障害者施策推進協議会委員
- ・ 障害当事者
- ・ 障害関係団体関係者
- ・ 民生委員児童委員
- ・ 地域関係者
- など



○ アンケート結果 (回収10人:男性5人/女性4人/不明1人)



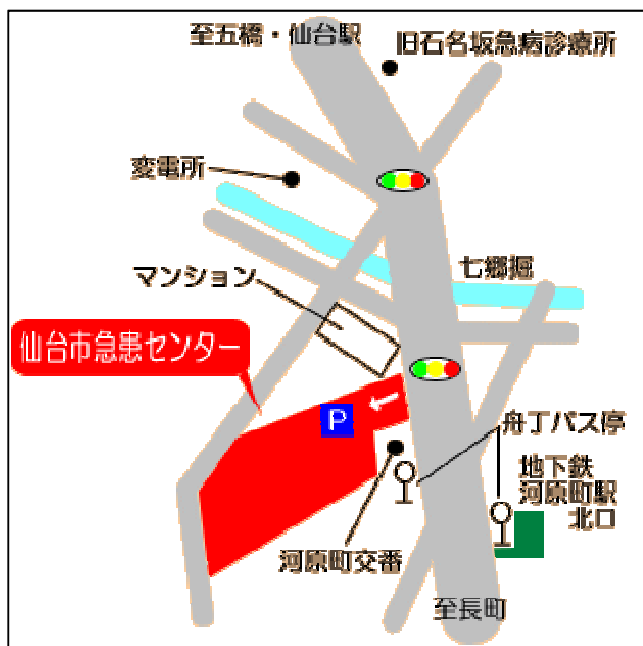
5:非常によい 4:よい 3:どちらともいえない 2:あまりよくない 1:全くよくない

## ○アンケートの主な感想・意見等（抜粋）

- ・ 障害当事者の意見を取り入れられる良い機会だと思います。
- ・ 今回、名前を考えるのは難しそう…とと思っていましたが、話し合いの中でとても大切なワードが出てきたなと思います。
- ・ 改めて良い条例をつくっていきたい（私たちの良い街のために、誰もが）という気持ちが新たになりました！
- ・ 自由な意見を言うことができ良かった。
- ・ 色々な会場で実施するのは良いと思います。
- ・ 参加メンバーが固定されてきている気がする。
- ・ 会場が近所だと参加しやすいかもしれない。
- ・ 初めて参加したが司会役の方の進め方がよく話やすかった。
- ・ 条例が成立した後も、ココロン・カフェのようなものを続けてほしいです。

## （５）次回のココロン・カフェ実施予定

	日 時	場 所	人数
第 13 回	平成 27 年 10 月 13 日(火) 14：00～16：00	仙台市急患センター・仙台市医師会館 5 階研修室 (地下鉄河原町駅下車徒歩 3 分)	50 名 程度



仙台市急患センター・仙台市医師会館  
仙台市若林区舟丁 64-12

<参考>

障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるカフェ  
「ココロン・カフェ」実施状況

	日時	場所	テーマ	参加者数
1	平成 26 年 10 月 22 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	障害ってなあに？	43 名
2	11 月 23 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	障害ってなあに？	69 名
3	平成 27 年 1 月 27 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	障害を理由とする差別を解消 するためにはどうしたらいい ～差別と感じた事例を検討し、 解決の方法を考えてみよう～	46 名
4	3 月 1 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	障害を理由とする差別を解消 するためにはどうしたらいい ～差別と感じた事例を検討し、 解決の方法を考えてみよう～	74 名
5	4 月 19 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	条例の理念について考えよう	42 名
6	4 月 22 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	条例の理念について考えよう	75 名
7	6 月 10 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00	仙台市職員研修所 2 階大研修室	差別解消のためのアイデア を出しあおう	43 名
8	6 月 13 日 (土) 14 : 30 ~ 16 : 30	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	差別解消のためのアイデア を出しあおう	55 名
9	7 月 6 日 (月) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台福祉プラザ 1 階プラザホール	差別に関する相談について考 えよう	72 名
10	7 月 18 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市立病院 3 階講堂	差別に関する相談について考 えよう	61 名
11	8 月 7 日 (金) 10 : 00 ~ 12 : 00	宮城野区役所 6 階ホール	条例の名前について考えよう	24 名
12	8 月 9 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00	仙台市役所本庁舎 8 階ホール	条例の名前について考えよう	39 名
計				643 名

## 2 ひとやさ版！ココロン・カフェ

～「障害を理由とする差別の解消を推進するための条例」に関する研修会～

### (1) 概要

バリアフリー整備を進めることを目的として設立されている、ひとにやさしいまちづくり推進協議会の会員向け研修に際して、障害による差別解消についての理解を深めるため、ココロン・カフェの形式を用いて意見交換を行った。

### (2) 実施日時及び参加者数等

日 時：平成 27 年 8 月 3 日（月）18：00～19：30

場 所：仙台市役所本庁舎 第一委員会室

参加者：19 名（ひとやさ推進協議会役員・会員、CIL たすけっと所属の障害当事者等）

### (3) 実施内容

- ① はじめに
- ② 障害を理由とする差別の解消を推進するための取り組みについての説明
- ③ グループワークによる意見交換

差別事例や障害当事者の体験談をもとに 4 グループに分かれ意見交換を行った。

#### 【取り上げた事例】

- ・ 車イスを利用している障害者に対して、「入店できない」と、事情の説明もなく食堂への入店を断られた。
- ・ 聴覚障害があり、聴こえないため、筆談での商品説明を店員に頼んだが、「忙しいから」と無視され、対応してもらえなかった。
- ・ 飲食店で、視覚障害により、メニューが見えないので、店員に読み上げを頼んだが、「そのようなサービスは提供していません」と読んでくれなかった。

#### ※ひとにやさしいまちづくり推進協議会とは

施設を整備する事業者と施設を利用する市民が連携・協力し、障害のある方、高齢の方、子ども連れの方を含めすべての方が、建築物や道路、公園などのさまざまな施設を円滑に利用できるよう、バリアフリー整備を進めることを目的として設立された民間有志による団体。（平成 27 年 5 月現在、70 団体加盟。）